

チャレンジ工房news

第 95 号 平成 31 年 2 月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

工房の日々 ～ 最近の研修風景 ～

先月末より、尼崎や西宮でもちらほらと雪が舞うほどの寒い日々が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

8年前の当工房の開所時よりも、登録所員数は若干減ってきたものも、毎日 6～7名の所員さんが通所されて、個々の目標に向かってのパソコン研修や工賃仕事に取り組むなどの以前のような活気を取り戻しつつあります。

また障害の特性上、他人と思うようにコミュニケーションを取ることが難しい所員さん、テキストにふりがなを付けるなどのテキストや教材に何だかの工夫を必要とする所員さん、パソコンのディスプレイの拡大表示や固定キーの設定などの個々の障害の特性に合わ

せてパソコンをカスタマイズすることが必要な所員さんと色々な障害を抱える所員さんが通所し、「障害者のパソコン研修の場・障害者の日中活動の場」としての当工房の存在意義が明確になってきました。

新年早々、関東地方から市内に引っ越して来られた女性の所員さんを新たに迎え入れ、当工房は「パソコンの作業所」と言うこともあって、男性の割合が多いので新たに女性が加わってくれたことで、工房の雰囲気明るくなった感じがします。

その彼女は、体験入所や面接のときから、「パソコンの腕を磨いて、いくいくは MOS とかのパソコンの資格を取って、近い将来はパソコン関係の仕事に就きたい」と、とても意欲的に私に話してくれています。「1日でも早く資格を取って働きたい」という彼女の姿を見ていると、京都でホームページを制作する作業所に通所して、必死に工賃仕事をこなしてたときのことや、無我夢中になって就職活動をしていた頃の自分のことがふっと思い出されます。

今、彼女には週に 3～4 回通所して貰って、基礎固めに Word の基礎のテキストをしっかりともらっています。

彼女以外にも、一般企業などの就職を見据えて、MOS などの資格取得のための勉強をされている所員さんが何名いるので、「工房に通っているうちに 1 つでも資格を取っている方がいいのではないかなあ」と所員さん同士で話されていたのを聞いていた所員さんが、刺激を受けて今まであまり資格取得に関心がなかった所員さんまでが「僕も Word の資格試験に挑戦してみたいです」という相談がありました。

当工房は原則として、「入力速度やパソコンの技術の競い合い」は禁止していますが、所員さん同士刺激し合ってそれぞれの個々の目標に向かってスキルアップしていくことは、とても良いことだと考えています。

「障害」を抱えながら、資格取得に挑戦したり何だかの仕事に就くことは、並大抵なことではありませんが、一人ひとりのペースで地道な努力を積み重ねて目標や夢を実現して貰えたらと思っています。

今後の予定。

今後の予定は、まだ未定です。

※所員さんには、分かり次第、お知らせいたします。



5年間ありがとうございました

約5年間当工房の事務長として、勤務して頂いた浦部吉久佐さんが1月31日付けで退職されました。体調を崩され、主治医からも「いったん仕事を離れて休憩したほうが良い」と、ドクターストップがかかりましたので、体第一ですので、残念ですが退職されることになりました。とても優しく細かいところまで気配りができる性格の持ち主だったので、所員さんはもちろん、地域の方・周囲の作業所や事業所のスタッフさんにも愛され好かれる存在でした。

また、所員の頃から積極的に「市民活動の広場あまがさき」のモニター業務や名刺・カレンダー作りに関わって頂き Aya さんとともに、現在の工賃仕事の主軸を作り上げてくれた一人でもあり、尼うえるフェアや絆市などの市内の障害者事業所の会議にも定期的に参加して貰い、カレンダーなどの販売ルートを開拓して下さいました。

所員さんたちの生きがいとなっている工賃仕事があるのも浦部さんのお陰だと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

私的には、同じ職員として工房の10周年・20周年を迎えることができればと思っていたので、今回の退職は残念でなりません。5年間、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。 所長 曲 圭子

ご報告と御礼

この度、急なことながら体調不良により、パソコン工房チャレンジを1月31日をもって退職いたしました。

この場をお借りしてご報告させていただきます。

在職中、お世話になった諸関係機関様、事業所様、ならびにスタッフの皆様方にはお気遣い、ご助力をしていただき、大変、嬉しくありがたく思っております。

また、お付き合いさせていただいた個人様におかれましても厚く御礼申し上げます。

工房、所員様におかれましてもスタッフとして接していただき、色々な面で助けてくださりありがとうございます。

いたらないところも多々あったと思いますが、5年3か月、勤められたのは皆様のおかげだと思っております。

つたない文章ではございますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

浦部 吉久佐

パソコン温故知新 office2019の新機能について

去年の秋にマイクロソフト社は、現在の office2016 の次世代版として、2019 を発売し日本でも先月から発売されているようで、書店でも2019 関連の書籍が置かれるようになりました。今回は、office2019 の Word の一部の新機能について紹介します。新しくなった分、使える機能がが増えて便利になったと思いがちですが、その分覚えるべき操作も増え Excel の関数の種類も増えているらしいので、使いこなすまで苦労しそうです。

※office2019 は、Windows10 のパソコンしか使えないらしいです。

読み上げ機能

Word に入力した文書などを音声で読み上げてくれる機能

翻訳機能

Word 文書や単語、語句を英語などの言語に翻訳してくれる機能

デジタルペンを使用した描画と書き込み

パソコン用のペンなどで Word 文書の中に書き込んだり、ペン・マウス・タッチパネルなどで、手書き風の文字やイラストを描画することが可能になりました

アイコンや3D 画像の種類の追加

視覚的でインパクトがある Word 文書を作るツールとしてのアイコンや3D 画像の種類が増えました。アイコンや3D 画像の色・大きさ等の編集も可能になりました